

「世界湿地の日まつり」に参加しました

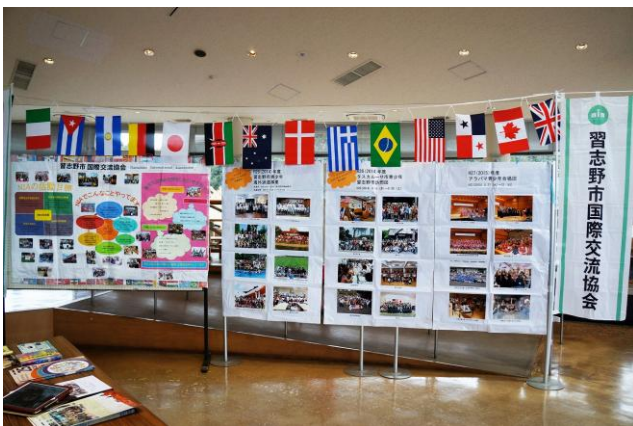
1971年2月2日にラムサール条約で「世界湿地の日」が締結されたことを記念して、2月に谷津干潟自然観察センターで「世界湿地の日まつり」が開催されました。谷津干潟は東京湾の最奥部に残された約40haの干潟。北の国と南の国を行き来する渡り鳥の中継地として大変重要な場所とされ、野鳥の観察や景色を楽しむ人々の憩いの場となっています。

2月6日（土）、7日（日）は谷津干潟自然観察センター主催の干潟のごみ拾いやミュージカル、水鳥の観察会やサイエンスカフェなどさまざまな催しが行われ、NIAも自然観察センター内での展示に参加しました。

NIAは普段の活動内容や、青少年海外派遣やタスカルーサ市からの訪問団の受入、アラバマ合唱団など近年の主なイベントの写真を展示。万国旗が飾り付けられ、華やかな雰囲気になっていました。

会場を訪れた方々は興味深そうに写真や活動内容を見てくださり、会員に声をかけてくださったり、これまでNIAの活動を知らなかった方にメンバーが活動内容を説明したりと、会場は子供たちも多く、賑やかなイベントになりました。

（報告 喜多有美／広報青年部会）



NIAのコーナーで活動を紹介しました。



ナラシド♪君も来て、訪れた子どもたちと記念撮影。